

第2期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）について

1. 策定の経過・趣旨

少子高齢化の進展への対応や、東京圏への人口集中の是正のため、国は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）を制定し、同法第10条においては、市町村においても、国や都道府県の総合戦略を勘案し、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生の基本的な計画を定める努力義務が明記されています。

本市においては、人口減少への対応を図るため、本市の人口の現状や将来展望を示した「人口ビジョン」と、ビジョンで示す将来展望を踏まえ、平成31年度（令和元年度）までの5年間で集中的に行っていく施策をまとめた「総合戦略」で構成する「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取り組みを進めてきました。

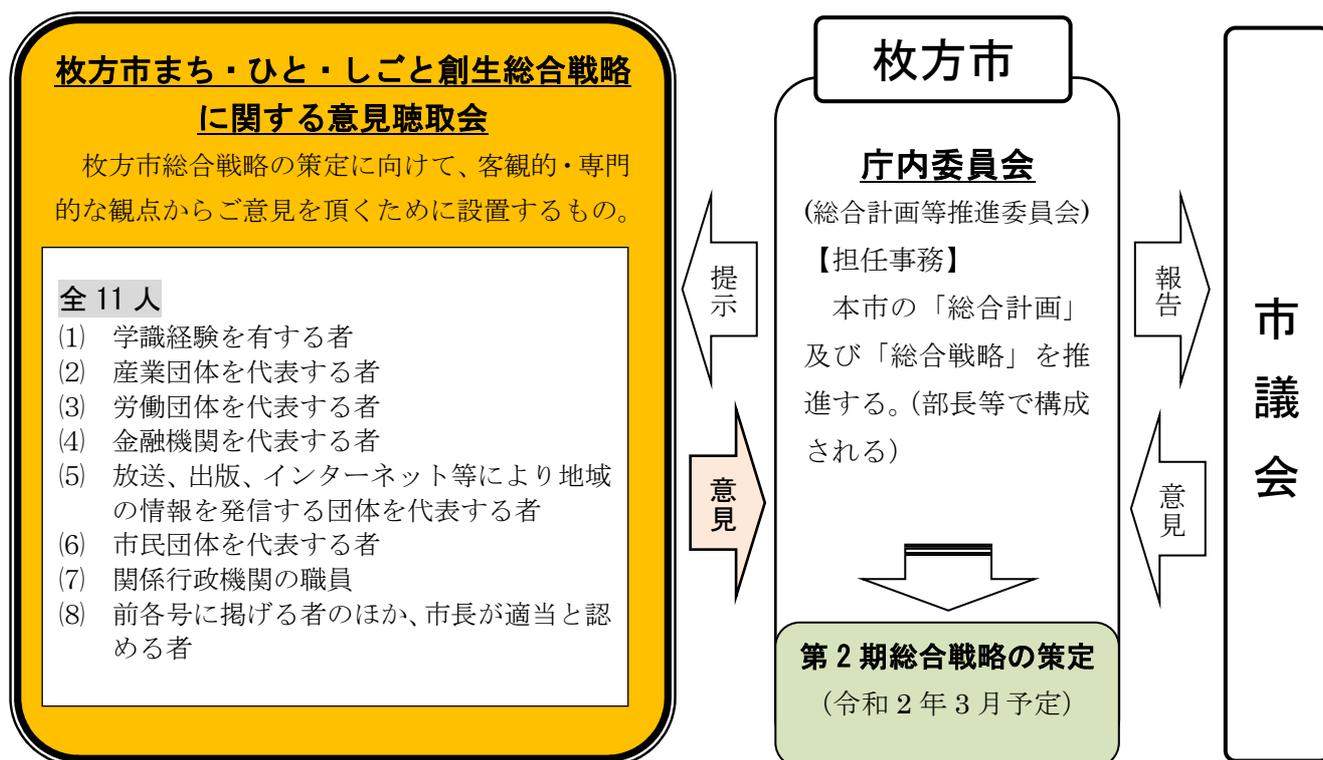
令和元年6月21日に国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」が示され、国において第2期総合戦略（令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度））を策定する方針が示されました。この方針では、「地方においても、国の『総合戦略』を勘案し、地方創生の充実・強化に向け、切れ目ない取組を進めることが求められることから、各地方公共団体においては、現行の『地方版総合戦略』を検証し、次期『地方版総合戦略』の策定を進める必要がある」としています。

このことを踏まえ、本市においても、人口減少への対応を引き続き推進していくため、令和2年度（2020年度）を始期とする第2期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するものです。

これまでの経過

平成26年	まち・ひと・しごと創生法が制定
平成26年12月	国の第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定
平成28年3月	第1期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
平成30年3月	第1期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂
令和元年12月(予定)	国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定
令和2年3月(予定)	第2期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

2. 策定体制



3. 人口ビジョンと人口動向の現状

本市の人口ビジョンについては、平成 26 年 1 月に、第 5 次総合計画策定に向けての基礎資料として作成した「枚方市 人口推計調査報告書」を基本とし、国や大阪府の人口ビジョンを踏まえながら、本市の今後の人口減少に対応するための将来の方向を定めるとともに、自然増減や社会増減に関する仮定を置き、目指すべき将来人口を展望しました。

枚方市の人口動向の現状については、次のとおりです。

①総人口・世帯数の推移



出典：枚方市住民基本台帳報告書

本市の総人口については、平成 21 年をピークに減少傾向が続いており、平成 30 年 12 月末日現在で、402,579 人となっています。

世帯数については、平成 30 年 12 月末日現在、180,043 世帯で、増加傾向が続いていることから、1 世帯あたり人員は減少傾向で、家族の少人数化がさらに進んでいることがうかがえます。

総合戦略策定時における大阪府の人口ビジョンを踏まえた将来展望では、令和 2 年（2020 年）に 402,444 人になると推計していますが、このまま減少が進むと将来展望の値を下回ることになります。

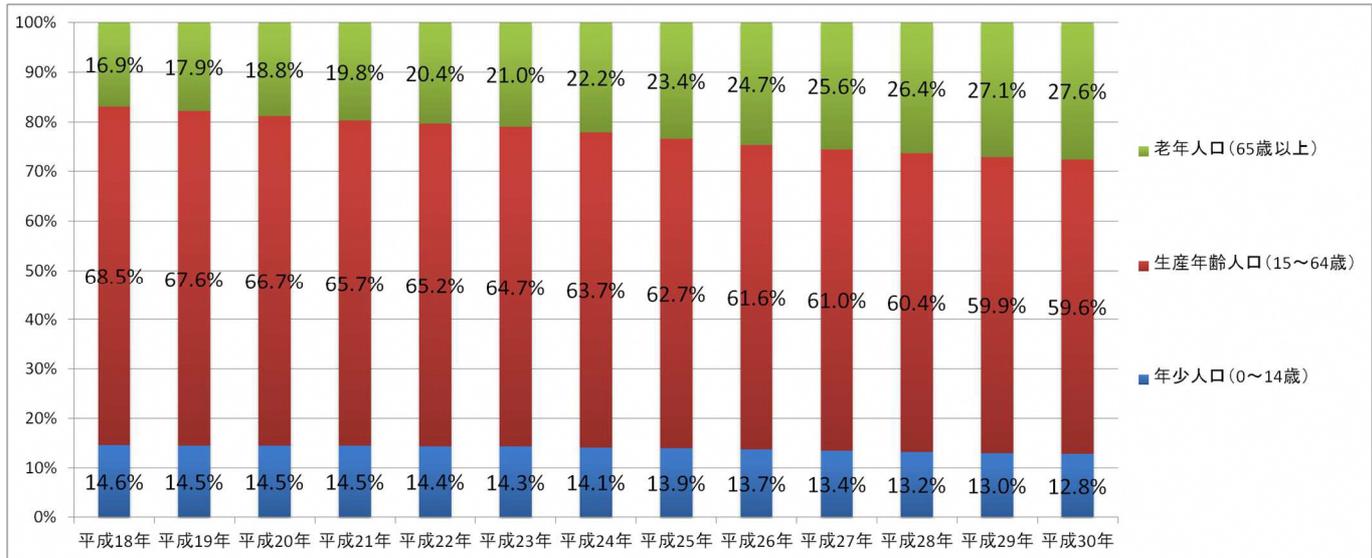
【参考】人口の将来展望と実績について

	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
実績	406,133	404,963	403,989	402,579	-	-
推計 1	406,519	405,794	405,069	404,344	403,619	402,664
推計 2						402,444
差引	-386	-831	-1,080	-1,765	-	-

※推計 1：国の示す出生率を用いた場合

推計 2：大阪府の示す出生率を用いた場合

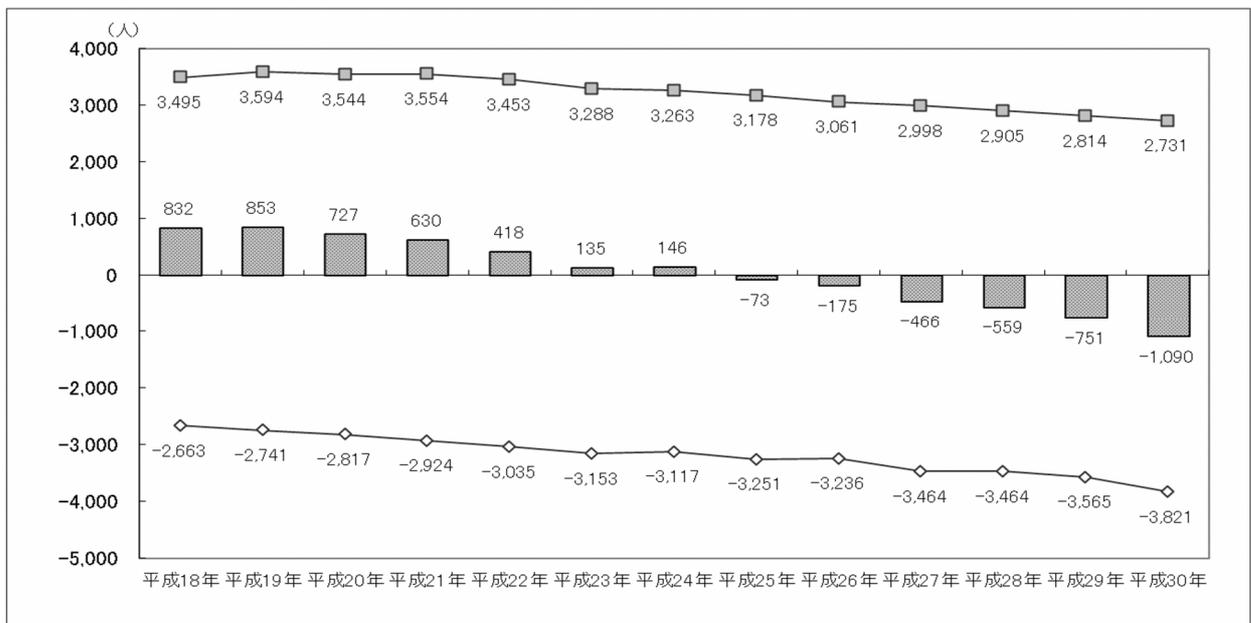
②年齢3区分別人口割合の推移



年齢3区分別人口の割合については、平成30年10月1日現在では、老年人口（65歳以上）が27.6%、生産年齢人口（15～64歳）が59.6%、年少人口（0～14歳）が12.8%となっており、生産年齢人口（平成27年比1.4ポイント減）と年少人口（平成27年比0.6ポイント減）は減少傾向にあるのに対し、老年人口（平成27年比2ポイント増）は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。

③自然増減の推移

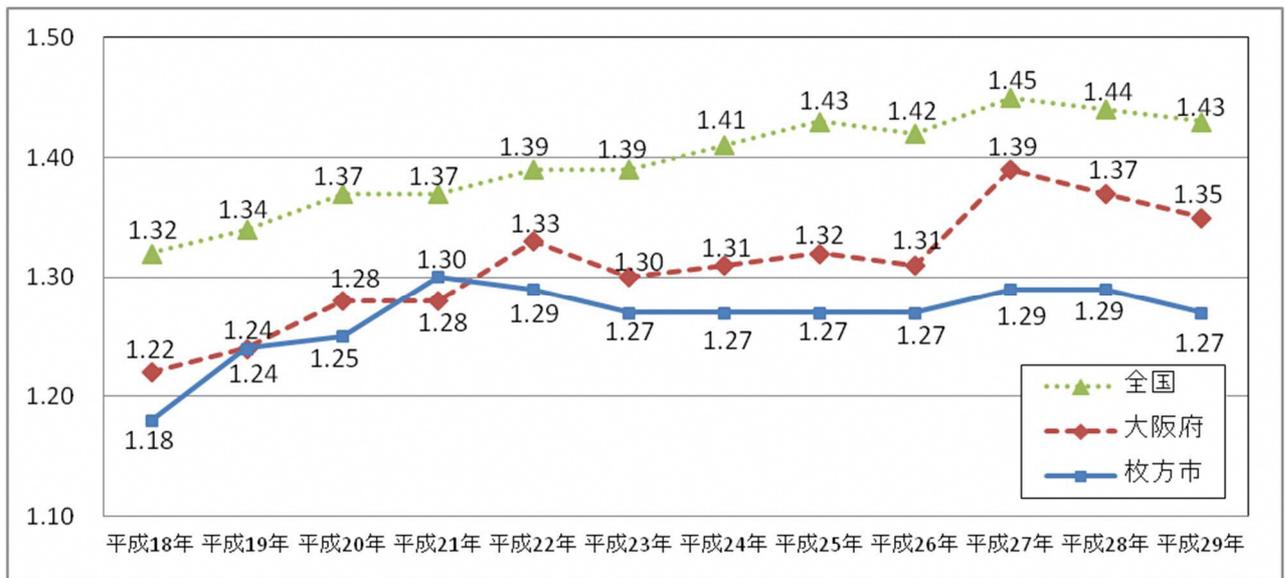
出生と死亡による自然増減については、平成24年までは出生数が死亡数を上回る自然増が続いていましたが、平成25年以降、死亡数が出生数を上回り、平成30年には1,090人の自然減となっています。



出典：枚方市統計書

④合計特殊出生率の推移

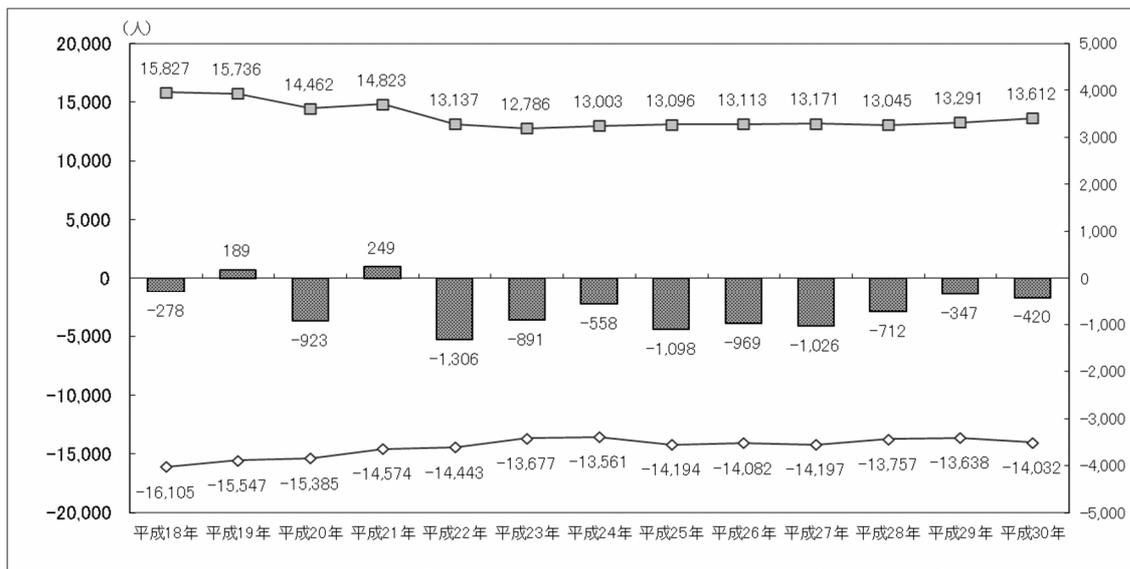
本市の合計特殊出生率については、平成 23 年以降、上昇傾向にありましたが、平成 29 年には 1.27 となっており、大阪府の 1.35 よりも 0.08 ポイント、全国の 1.43 よりも 0.16 ポイント低く、今後も人口を維持するのに必要とされる水準である 2.07（人口置換水準）を大きく下回っています。なお、合計特殊出生率の向上については、国の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に関する有識者会議において、「国が全国一律でやるべきことを進めるなど、国と地方の効果的な役割分担の元で対応することが重要である」との指摘がなされているところです。（令和元年 5 月 31 日 第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に関する有識者会議中間取りまとめ報告書）



⑤社会動態（転入・転出）

転入と転出による社会増減については、転出超過の傾向が続いており、これまで1,000人前後の社会減で推移していましたが、平成29年は転入数の増加及び転出数の減少により、347人の社会減となりました。平成30年は転出数が増加に転じたことから420人の社会減となっていますが、転入数については増加傾向が続いています。

転入数、転出数の推移



出典：枚方市統計書

4. 第1期総合戦略の振り返り

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口ビジョンで示した将来展望の推計に近づけるため、平成27年度から平成31年度（令和元年度）までの5か年を期間として、2つの政策指標を掲げるとともに、3つの基本目標を定め、取り組みを進めてきました。（平成30年3月には、総合戦略をより実行性のあるものとし、総合戦略が目指す方向性や基本目標を実現していくため、これまでの定住促進・人口誘導対策に係る取り組みや、平成29年度の施策評価の結果を踏まえた改訂を行いました。）

（1）政策指標の推移

総合戦略では、市民の定住や市外からの人口誘導を促進するため、本市への定住意向や住みよさの向上を政策指標として設定しました。これまでの推移は次のとおりです。

※政策指標の値は、平成27年及び平成31年に実施した市民意識調査によるものです。

評価については、政策指標の推移を踏まえ、①…目標値を達成したもの、②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの、③…策定時の値を下回っているものの3段階で評価しています。

政策指標の推移	策定時（H27）の値	H31	目標値	評価
政策指標1：本市への定住意向を示す市民の割合	87.1	89.2	90.1	②
政策指標2：本市を住みよいと感じる市民の割合	78.5	80.1	81.5	②

政策指標については、ともに目標値には達していないものの、平成27年の策定時の値を上回っています。

（2）3つの基本目標に関する指標の推移

政策指標の達成に向け、国や大阪府の総合戦略の政策分野を勘案しながら、人口減少に対応するための効果的な取り組みを集中的に実施していく観点から、一定のまとまりの政策分野ごとに基本目標を定め、基本目標の実現に向けた主観的成果指標を設定しました。これまでの推移は次のとおりです。

※主観的成果指標の値は、平成27年及び平成31年に実施した市民意識調査によるものです。

評価については、主観的成果指標の推移を踏まえ、①…目標値を達成したもの、②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの、③…策定時の値を下回っているものの3段階で評価しています。

基本目標 1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	地域産業が活発に展開されるまち	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	18.3	20.7	23.3	②
2	いきいきと働くことのできるまち					
3	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	27.6	30.2	32.6	②
4	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	37.8	41.9	42.8	②
5	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	22	42.6	27	①
6	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	20.8	21.2	23.8	②

基本目標 1 については、施策目標 5 「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち」に関する指標が目標を大きく上回りました。その他の指標については目標値には達していないものの、平成 27 年の策定時の値を上回っています。

基本目標 2 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	37.3	38.5	42.3	②
2	子どもたちが健やかに育つことができるまち	安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	37.9	44.5	42.9	①
3	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	35.3	39.4	40.3	②

基本目標 2 については、施策目標 2 「子どもたちが健やかに育つことができるまち」に関する指標「安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合」が目標を上回りました。その他の指標については目標値には達していないものの、平成 27 年の策定時の値を上回っています。

基本目標 3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	52.4	56.1	57.4	②
2	健康危機管理が充実したまち					
3	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	62.5	49.6	67.5	③
4	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5	30	32.5	②

基本目標3については、施策目標3「安心して適切な医療が受けられるまち」に関する指標「安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合」が策定時の値を下回る結果となり、その他の指標については目標値には達していないものの、平成27年の策定時の値を上回っています。

(3) 各施策目標に対する重要業績評価指標（KPI）の推移

各施策目標に対する重要業績評価指標（KPI）の推移については、全体の約81.1%の指標が策定時の値を上回っており、うち29.7%が目標値を達成しています。一方で、約18.9%の指標については策定時の値を下回っています。

5. 人口ビジョン・総合戦略の策定に向けた方向性

(1) 第1期の人口動向と総合戦略のまとめ

第1期総合戦略期間における人口動向を見ると、自然動態については引き続き減少傾向にあり、合計特殊出生率についても策定時と同水準で推移しています。一方で、社会動態についても、一定の改善傾向が見られるものの、減少の傾向が続いています。これらのことから、平成28年の人口ビジョン策定時と比べて、本市における人口動向の傾向は変わらないものと総括されます。

次に、総合戦略の政策指標、基本目標に係る施策指標、各KPIについては、当初目標の達成には至っていないものの、概ね目指すべき目標に向けて推移しているところです。また、人口動向においても、転入人口の増加や子育て世帯の転入増加という傾向が見られています。

国や大阪府の動向を見ますと、国の基本方針や大阪府の第2期総合戦略骨子（案）においては、人口減少への対応にかかるこれらの取り組みについては、効果が短期間で現れるものではないと総括され、現行の枠組みを引き続き維持するとされていることとされています。

これらのことを踏まえ、本市においても、政策指標及び各基本目標の指標について概ね策定時の値を上回る傾向が見られることから、引き続きPDCAサイクルによる改善により、取り組みを進めることが必要であると判断します。

一方で、これまでの社会的変化などを踏まえ、国の基本方針に示されている「新たな視点」に示されているような、本市の戦略上必要な視点については、取り入れていく必要があります。

(2) 第2期枚方市総合戦略の方向性

以上の検討から、第2期枚方市総合戦略における人口ビジョン及び総合戦略の策定については、次に掲げる方向性のもとで進めるものとします。

①人口ビジョン

第1期総合戦略における人口ビジョンの策定時とその後の枚方市の現状の人口動態を含めた本市の人口の推移の傾向については大きな変化はないことから、人口ビジョンで示す枚方市人口の将来展望については、今年度実施する人口推計調査の反映を行うほかには、社会増減をゼロとするなどの従来 of 展望を維持し、転入人口の増加や子育て世帯の転入超過を目指した取り組みを進めます。

②総合戦略

第1期総合戦略に引き続き、市民の定住や市外からの人口誘導を促進するため、本市への定住意向や住みよさの向上に係る2つの政策指標と3つの基本目標のもと、取り組みを進めます。また、各施策の効果をより客観的に検証できるよう、重要業績評価指標（KPI）の見直しを行います。

総合戦略の推進にあたっては、第1期で掲げたシティプロモーション推進の観点や市のイメージ向上を目指した情報発信の取り組みのほか、以下の新たな視点を加えて、取り組みを推進・加速化していきます。

【第2期総合戦略で盛り込む新たな視点】

- ・Society5.0の実現に向けた技術の活用、スマートシティ実現に向けた取り組み
- ・SDGsを原動力とした地方創生

6. 計画期間

枚方市総合計画の第2期実行計画の期間に合わせ、令和2年度（2020年度）から令和5年度（2023年度）までの4年間とします。

(参考)KPI(重要業績評価指標)一覧

①…目標値を達成したもの、②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの、③…策定時の値を下回っているもの

基本目標1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況
1 地域産業が活発に展開されるまち	(1)企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります。	地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数(累計)	14件	16件	18件	18件	24件	②
	(2)中小企業の競争力強化のため、経営基盤の強化を図るとともに、産業技術や製品などを広く発信することで、市内産業の振興を図ります。	地域活性化支援センターホームページ等のアクセス数	396,980件	690,468件	759,537件	1,184,318件	1,200,000件	②
	(3)創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実を図ります。	市の創業支援を受けて創業した件数	21件	17件	24件	12件	31件	③
	(4)市内の企業や個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます。	市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	17件	11件	15件	14件	20件	③
	(5)身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、主体的に取り組む商店街の活性化を図ります。	商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	32件	37件	39件	37件	34件	②
2 いきいきと働くことのできるまち	(1)就職困難者に対する就労支援をはじめ、地域の実情に応じた新たな雇用機会の創出など、雇用対策の充実に取り組みます。	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	67人	76人	63人	66人	109人	③
		就労支援対象者(生活保護受給者・生活困難者)のうち就労に結びついた人数	131人	133人	151人	125人	180人	③
3 安全で快適な交通環境が整うまち	(1)交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。	幹線道路の整備率	60.6%	60.6%	60.6%	60.2%	64.1%	③
		京阪本線連続立体交差事業の進捗状況	用地取得に着手	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地買収	-
	(2)交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。	国道1号における交通量	46,910台	44,286台	44,651台	45,066台		②
	(3)日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。	歩道の設置延長距離	114.7km	116.6km	116.6km	117.1km	118.0km	②
	交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	19,149人	22,848人	24,597人	23,411人	20,000人	①	
4 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	(1)市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。	京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合	15.2%	15.6%	15.8%	算出中	-	②
		公共交通利用促進啓発イベントの参加者数	565人	2,217人	4,037人	4,530人	4,000人	①
	(2)利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、効率的・効果的な都市整備を進めます。	鉄道駅利用者の市域人口に対する割合	69.3%	71.3%	70.2%	71.4%	-	②

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況
4 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	(3) 今後、増加することが見込まれる管理不良な空き家・空き地の発生抑制などを図るため、空き家・空き地の適正管理及び活用を促進します。	特定空家等に指定した空家等の改善率	-	-	0	100%	100%	①
		空き家マッチング件数	-	-	-	1	-	②
	(4) 地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。	民間木造住宅耐震改修戸数(累計)	230戸	474戸	534戸	595戸	700戸	②
		橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕率	14.6%	18.8%	37.5%	47.9%	62.5%	②
(5) 公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。	主要な雨水幹線管渠の整備率	44.5%	44.5%	45.4%	45.6%	45.5%	①	
5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	(1) 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。	枚方市駅利用者の市域人口に対する割合	22.4%	22.7%	23.20%	算出中	-	②
		枚方市駅周辺の人口	2,243人	2,478人	2,452人	算出中	-	②
	(2) 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、各種イベントの開催など賑わいづくりを創出します。	枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数	139,300人	199,300人	185,300人	195,400人	200,000人	②
6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	(1) 本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに、幅広い世代の人々にとっての憩いの場や学びの場を確保することで、人々の交流機会の創出を図ります。	観光ステーション利用者数	28,270人	26,300人	27,000人	25,640人	35,000人	③
	(2) 学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。	市と大学との連携事業に参加した学生数	1,775人	1,659人	1,738人	1,906人	4,700人	③

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況
1 安心して妊娠・出産できる環境を整うまち	(1) 妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができるよう、母と子の心身の健康づくりを進めます。	妊娠11週以下での妊娠の届出率	95.2%	95.3%	94.9%	96.1%	96.0%	①
2 子どもたちが健やかに育つことができるまち	(1) 子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	乳幼児健康診査の受診率	94.0%	96.1%	96.2%	95.1%	97.0%	②
	(2) 保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	保育所等利用待機児童数	243人	283人	299人	320人	0人	③
		保育所等定員増数(3歳未満児)	2,544人	2,907人	2,984人	3,247人	3,407人	①
		留守家庭児童会室待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	①
	(3) 障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。	児童発達支援利用者数	128人	138人	116人	109人	165人	③
		放課後等デイサービス利用者数	348人	605人	683人	739人	539人	①
	(4) 子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	地域子育て支援拠点事業利用者数	75,305人	83,650人	82,698人	78,430人	81,200人	②
	(5) 子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	児童虐待に関する相談件数	14,657件	19,305件	19,018件	24,341件	-	②
	(6) ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	ひきこもり等に関する相談件数	1,116件	1,548件	2,072件	2,466件	-	②
	(7) 子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数(累計)	13人	30人	39人	50人	84人	②
(8) 男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ります。	育児休業を取得した男性職員数(累計)	12人	17人	22人	29人	29人	①	

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況
3 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	(1)義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	学校の授業時間以外での学習を全くしていないと回答した児童・生徒の割合	小学校児童5.7% 中学校生徒9.3%	小学校児童6.2% 中学校生徒8.7%	小学校児童4.6% 中学校生徒6.9%	小学校児童4.3% 中学校生徒7.3%	小学校児童4.5% 中学校生徒7.5%	①
		「国語の授業がわかる」と回答をした児童・生徒の割合	小学校児童81.3% 中学校生徒73.4%	小学校児童79.4% 中学校生徒82.5%	小学校児童82.7% 中学校生徒80.2%	-	小学校児童90.2% 中学校生徒78.9%	②
		「算数・数学の授業がわかる」と回答をした児童・生徒の割合	小学校児童82.9% 中学校生徒74.8%	小学校児童83.6% 中学校生徒74.0%	小学校児童84.8% 中学校生徒73.6%	小学校児童86.7% 中学校生徒76.0%	小学校児童93.1% 中学校生徒86.9%	②
		生徒の英語の理解度	第1学年1.058 第2学年1.089 第3学年1.073	第1学年1.058 第2学年1.089 第3学年1.073	第1学年1.042 第2学年1.070 第3学年1.069	第1学年1.048 第2学年1.056 第3学年1.061	第1学年 1.1 第2学年 1.1 第3学年 1.1	③
		学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合	小学校児童58.1% 中学校生徒46.2%	小学校児童58.4% 中学校生徒43.9%	小学校児童60.5% 中学校生徒46.8%	小学校児童59.9% 中学校生徒47.3%	小学校児童66.1% 中学校生徒58.2%	②
	(2)充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合	85.6%	91.6%	93.9%	95.1%	100%	②
		教員が、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価している割合	小学校97.8% 中学校94.8%	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	小学校97.8% 中学校94.8%	小学校100% 中学校100%	②
	(3)学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合	小学校児童74.6% 中学校生徒63.6%	小学校児童74.0% 中学校生徒64.7%	小学校児童76.1% 中学校生徒67.6%	小学校児童88.3% 中学校生徒83.1%	小学校児童77.8% 中学校生徒70.6%	①
	(4)学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	いじめの認知件数	小学校児童62件 中学校生徒72件	小学校児童420件 中学校生徒107件	小学校児童1,198件 中学校生徒113件	小学校児童645件 中学校生徒144件	-	②
		不登校児童・生徒の割合	小学校児童0.23% 中学校生徒3.30%	小学校児童0.49% 中学校生徒3.38%	小学校児童0.47% 中学校生徒3.72%	小学校児童0.62% 中学校生徒4.23%	小学校児童0.13% 中学校生徒2.28%	③
	(5)子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	不審者の侵入件数	0人	0人	0人	0人	0人	①
		交通安全教室実施回数	78回	89回	112回	115回	80回	①
		犯罪発生件数	11.3件	8.6件	7.4件	6.1件	-	②
	(6)安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した学校施設の更新や改修、学校規模等の適正化を図るなど、教育環境の向上を図ります。	学校施設整備計画に基づく整備率	-	-	-	100%	100%	①
		中学校給食の喫食率	-	25.7%	32.2%	32.0%	50.0%	②
	(7)障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家の派遣回数	147回	406回	433回	453回	380回	①

基本目標3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況	
1 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	(1)「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。また、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	コンソーシアム連携事業への参加者数	10,391人	15,266人	11,876人	5,808人	11,800人	②	
		健康・医療に関する相談件数(累計)	9,679件	9,679件	18,462件	20,200件	40,000件	②	
		健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	13,403人	13,957人	13,892人	12,055人	16,800人	③	
	(2)あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。	スポーツイベントの参加者数	36,213人	39,298人	41,477人	43,275人	47,000人	②	
		特定健康診査受診率	32.5%	33.5%	33.5%	35.3%	40.0%	②	
	(3)各種健(検)診の受診者を増やす取り組みなどを通じて、生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見を進めるとともに、食育や歯科口腔保健の推進を図ります。	大腸がん検診受診率	20.8%	8.3% (旧基準:21.3%)	7.7%	7.7%	40.0%	③	
		(4)こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進めます。	こころの健康相談の相談件数	3,169件	4,736件	4,659件	6,471件	-	②
(5)難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合	96.2%	99.8%	98.2%	99.6%	100%	②		
2 健康危機管理が充実したまち	(1)感染症の予防や拡大防止対策を強化するとともに、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を向上することなどにより、健康に関する危機管理体制の充実を図ります。	1歳までにBCG接種を終了している者の割合	95.5%	97.2%	95.9%	97.5%	97.8%	②	
		取去検査における違反・不適合件数	7件	5件	1件	2件	0件	②	
3 安心して適切な医療が受けられるまち	(1)「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。また、地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。	【再掲】コンソーシアム連携事業への参加者数	10,391人	15,266人	11,876人	5,808人	11,800人	②	
		(2)初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	80.8%	70.0%	79.6%	80.2%	82.0%	②
		(3)市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。	地域医療機関から市立病院への紹介件数	10,233件	11,862件	12,479件	12,289人	10,700件	①

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度目標値	達成状況
3 安心して適切な医療が受けられるまち	(4)外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。	医療通訳士の利用件数	-	280件	313件	538件	300件	①
		医療機関への手話通訳の派遣件数	1,007件	984件	877件	985件	1,500件	③
	(5)高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	1回	15回	14回	15回	11回	①
4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	(1)保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。	【再掲】地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	1回	15回	14回	15回	11回	①
	(2)認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)	12,480人	18,738人	21,126人	22,897人	25,700人	②
	(3)高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。	介護保険給付に占める在宅サービスの割合	68.4%	70.7%	71.3%	71.0%	71.9%	②
	(4)介護が必要となったときに質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。	介護保険施設等の施設数	80施設	81施設	83施設	85施設	89施設	②
	(5)高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。	介護予防教室等の参加率	13.8%	22.9%	20.9%	22.8%	16%	①
		登録された高齢者の居場所数	-	-	51件	101件	100件	①
	(6)高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。	ひらかた生き生きマイレージ(介護予防ポイント事業)による活動件数	645件	3,778件	4,504件	4,079件	3,900件	①